

第60回指定都市子ども会育成研究協議会横浜大会に参加して

日時 令和6年11月9日～10日

場所 横浜ベイシェラトンホテル

会長 山本一郎

初日の基調講演は、「地域でささえる子どもの居場所」をテーマに講師として廣瀬貴樹先生（一般社団法人かけはし 代表理事）を迎えての話がありました。

廣瀬先生は小学校教諭をされていましたが、三年前に奥様と一緒に退職され、不登校の子ども達の居場所づくりをするため一般社団法人かけはしを設立されました。

1 なぜ居場所づくりなのか

不登校になる子ども達の原因は人間関係、複雑な家庭環境、子どもの貧困などがあります。不登校の理由には言葉にできない様々な要因が後に組み合っている。だれでも不登校の状況となり得る。子どもの誰もが様々な悩みや葛藤を抱えている。

2 かけはしの居場所づくりとは

とことん寄り添いたい。土になりたい。子ども達の思いに寄り添うこと。安心、その子らしさを見つけること。

3 地域でささえる子どもの居場所とは

第3の居場所。子どもや親を取り巻く環境、複雑さ。学校や家庭以外に居場所がある、色んな学年が関わり合う異年齢交流、大人も子どもも関係なく一緒に楽しむ、地域の人との交流をする。

4 居場所のちから

本来子どもが持っているパワーを試す場

ネットワークの必要性、子どもの育ちや学びを共に考え、地域全体で子どもを見守るまちづくり。

子ども会も同じだと思いました。

分科会では「子ども会で育つ子ども達のちから」をタイトルにして、5班に分かれま

（第4グループのまとめ）

子ども会の魅力をPR、子ども達の育ち学びに大切なこと。それに対して

1 体験から学び、異年齢から活動で学ぶ、地域連携してPRする楽しさ。

2 育ち学びに大切なことは子どもが自ら学び体験すること。異年齢活動、同級生とのつながり、大人を見る、リーダー養成、後輩に流れを作る。

第一には子ども会の良さをPRすること。次に体験をすることが大切であると感じました。

